映画『うまれる』上映会開催！

日 時　平成23年10月8日（土）　定員：各回500名（先着順）

午前の部　パパママタイム　10：30～12：15　（9：30開場）

午後の部　ゆっくり涙タイム　15：00～16：45　（14：00開場）※未就学児入場ご遠慮願います

場 所　神戸市看護大学ホール　神戸市西区学園西町3丁目4番地

URL　http://www.kobe-ccn.ac.jp　TEL　078-794-8080

アクセス　三ノ宮より神戸市営地下鉄西神中央行きに乗り「学園都市」駅下車　学園都市駅から徒歩10分

この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、
出産を切り口にした『親子の物語』なのだと思う。
親に、深く、深く、感謝した。

乙武洋匡
（作家）

私に関わってくれるすべての人に
「本当に本当にありがとう」と言いたくなりました。
また政治家という立場からも
何ができるか考えさせられる映画でした。

小渕優子
（衆議院議員　元少子化対策・男女共同参画担当大臣）

すべてのプレパパ、イクメン予備軍は
この映画で“パパスイッチ”をONせよ！

安藤哲也
（NPO法人ファザーリング・ジャパン代表）

私は子供を産まずに45歳になりました。
でも、それは欠陥ではないよ、と言ってもらえた気がしました。
そう思ったら涙が止まりませんでした。

さかもと未明
（漫画家・タレント）

“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、この映画を作ったのかもしれません”

自分は愛されているんだろうか…　自分は本当にこの両親の子どもなんだろうか…　物心ついた時から、僕はそう思っていました。
4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まれてきたことから、両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らずに育った気がしていました。
自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか…　自分の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く夢を描けませんでした。
そんなある日。講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれてくる」という胎内記憶の話を聞きました。
自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないとずっと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、心から感動したのです。
自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは…　長らく抱いていた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。
「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自身、両親との関係を築き直せるかもしれない……。
それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影させていただいてきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、その奥深さと神秘に僕は圧倒されました。
産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょう？
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらうれしいです。

企画・監督・撮影　豪田トモ

あなたの町で映画『うまれる』を上映しませんか？
自主上映会サービスの詳細＆お申込は公式HPより

うまれる

ナレーション：つるの剛士　企画・監督・撮影：豪田トモ
製作：インディゴ・フィルムズ／配給・宣伝：マジックアワー
©2010「うまれる」パートナーズLLP
2010／日本／カラー／HD-35mm／104分／ビスタサイズ／DTS STEREO
www.umareru.jp

命のドラマが書籍になりました。
「うまれる　かけがえのない、あなたへ」
豪田トモ著　PHP研究所　1,470円（税込）

～上映会開催にあたってのお知らせ～

- 午前の部（パパママタイム）は、小さなお子さんも一緒に鑑賞していただける時間です。
  オムツ交換のできる場所およびベビーカー置き場を設けています。
- 午後の部（ゆっくり涙タイム）は、ゆっくり映画を楽しみたい方のための時間帯です。
  未就学児の入場はご遠慮いただいておりますのでご注意ください。
- 会場までは、公共交通機関をご利用ください。

主 催　　神戸市看護大学 健康支援地域連携センター（コラボセンター）　神戸市看護大学